



# 幼保小の学びをつなぐ 津市架け橋プログラム ～主体的・対話的で深い学びの実現へ～



合併前市町村名  
津市、久居市、河芸町、  
芸濃町、美里村、安濃町、  
香良洲町、一志町、  
白山町、美杉村

平成18年1月1日 10市町村が合併

総面積 **711.18**km<sup>2</sup>  
人口 **270,713**人  
令和6年2月1日時点



津なぎさまち



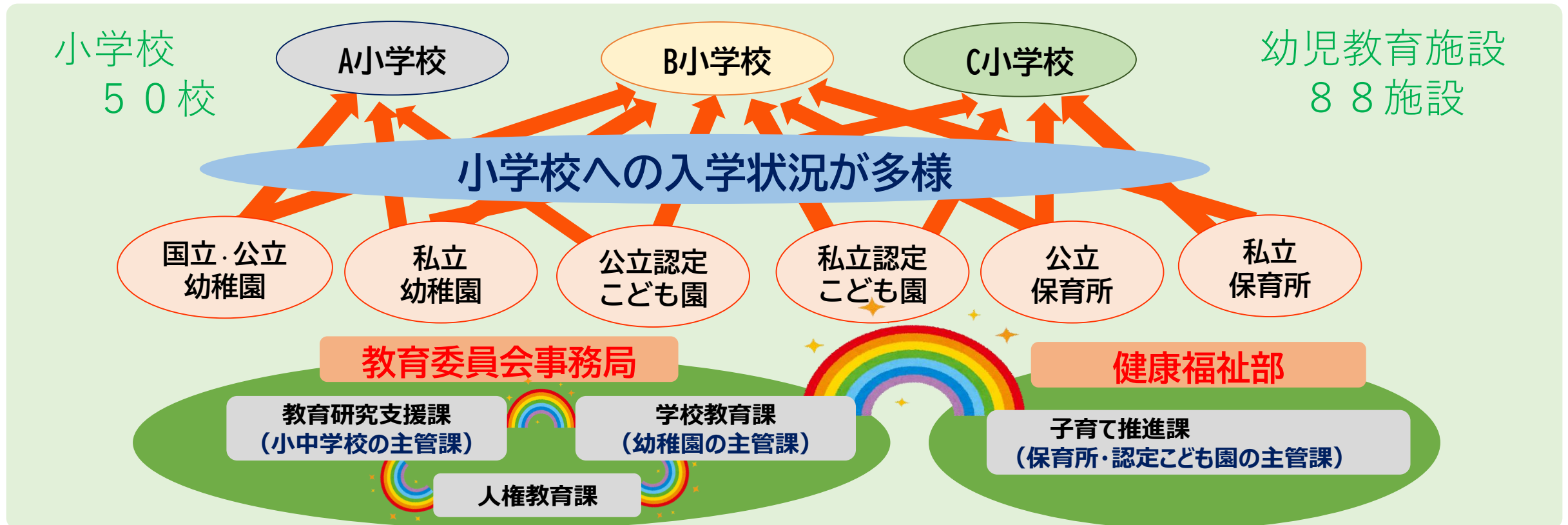
# 津市の小学校及び幼児教育施設の現状

小学校・義務教育学校(前期課程)		
(R5.5.1)	施設数	児童数
市立小	48	12,735
市立義務教育学校	1	140
国立小	1	586
計	50	13,461

幼稚園		
(R5.5.1)	施設数	園児数
市立	18	408
国立	1	76
私立	6	868
計	25	1,352

認定こども園		
(R54.1)	施設数	園児数
市立	6	1,068
私立	17	2,198
計	23	3,266

保育所		
(R54.1)	施設数	園児数
市立	19	1,566
私立	21	1,960
計	40	3,526



# 津市架け橋プログラムの充実に向けて

- 価値観が多様化、複雑化する中、一人一人の子どもたちが、自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていく力を育成することの必要性
- 乳幼児期は、生涯にわたる人格形成や非認知能力の基礎を培う極めて重要な時期であることを再認識

## 津市架け橋プログラムを教育振興ビジョンの重点施策の一つに

### 1 目指す方向性を示し、施設類型・設置者・学校種を越えて、気軽に話し合える関係を構築する

- 津市架け橋プログラムに係る事務局の体制づくり ⇒ **教育委員会事務局と健康福祉部が協働**
- 目指す方向性の確認と発信 ⇒ 津市教育振興ビジョン、教育大綱、教育方針のすべてに明記、総合教育会議で「架け橋プログラム」を協議
- 0歳から18歳までのとぎれのない連続した取組の実現 ⇒ 小中一貫教育や地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)の取組との連動
- 公私立の幼保小、子育て関連部局、保護者、地域の関係者、大学等との連携 ⇒ **かけはし通信、リーフレット、SNS等で発信、合同研修会等**

### 2 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに子どもの姿を起点に楽しく語り合い、学びを深める

- 特化研究プロジェクトによる**モデル小学校区(4小学校区)**での実施・検証 ⇒ **架け橋サポーター、幼児教育アドバイザー、および指導主事等の支援**
- すべての小学校区(50小学校区)**において、**楽しい語り合いを通じた架け橋期カリキュラムの作成**  
⇒幼児期の遊びを通じた学び、主体性を大切にした教育、幼児教育と小学校教育の違い等について共通理解

### 3 幼保小の教育のつながりを意識した活動が、主体的・対話的で深い学びの実現につながることを意識する

- 教職員の意識改革と資質・能力の向上 ⇒研修会(**公私立幼保小合同研修会、津市教職員研修会**)等の充実
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ⇒ **全校体制で子どもがのめり込む、学びに向かう授業づくり(ステップ3を目指して)**

小学校の授業改善を進める！主体的・対話的で深い学びの実現

# 乳幼児期から小学校への連続した学び

～津市架け橋プログラムの実施において～

## これまでの幼小連携の取組からの課題

- 多くの幼稚園及び小学校が、幼小連携の在り方に課題意識を持っている。また、各校・園における連携の必要性に関する意識の差があったり、連携の対象となる校・園がはっきりしていなかったりする。
- 各校区における幼小連携が、行事の交流や就学前の引継ぎ等にとどまり、資質・能力をつなぐカリキュラムの編成・実施が行われていない場合が多い。
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解が十分でなく、到達目標と誤解され、連携の手がかりとして十分機能していない。また、幼児教育施設が多様な施設類型に分かれていることから、幼児教育施設間で連携を図りながら共通理念をもって、小学校へ幼児期の育ちを発信していくことが必要である。

## 津市架け橋プログラムがめざすもの

- 幼児期から児童期のそれぞれの発達の特性や連続性を見通しつつ、5歳児と小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、幼児教育と小学校教育の関係者が連携しながら、それぞれのカリキュラム・教育方法の充実・改善にあたる。
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに幼児教育と小学校教育の関係者による子どもの姿、育ち、学びについての話し合いを充実させ、相互理解を図るとともに、それぞれの教育方法の充実・改善につなげる。
- 架け橋期における環境の構成や子どもへの関わり方に関する工夫等を見える化し、家庭や地域にも発信する。

### 【令和4年度】カリキュラムの開発

#### 津市架け橋期カリキュラム在り方検討会

- 相互の教育の内容や方法に関する理解の改善・発展
- 園・小学校と関係機関及び関係団体との連携
- 入学当初の小学校1年生の実態把握アンケート実施

#### 津市架け橋期カリキュラム検討

- ワーキング会議
- 実践・交流・協議 ○カリキュラムの作成

### 【令和5年度】カリキュラムの検証

- モデル小学校区における津市架け橋期カリキュラムの実践・検証

- モデル小学校区の取組実践報告会の実施

- 津市架け橋期カリキュラムの見直し・完成

### 【令和6年度】カリキュラムの実施

- 小学校区において、架け橋期カリキュラムを作成・実践

- 実践交流会を実施



小学校教育

幼児教育

3歳未満の保育

認知能力  
非認知能力

非認知能力の基礎

愛着形成

### 各教科等の学習内容の系統的な学び

- ・自覚的な学び
- ・各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程
- ・到達目標「～できるようにする」等
- ・教科カリキュラム（学問の体系を重視）
- ・学級、学年等
- ・時間割に沿った一日の流れ



### 遊びや生活を通じた総合的な学び

- ・学びの芽生え
- ・5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）
- ・方向目標「～を味わう」「～を感じる」等
- ・経験カリキュラム（生活や経験を重視）
- ・個人、友達、小集団
- ・子どもの生活のリズムに合わせた1日の流れ



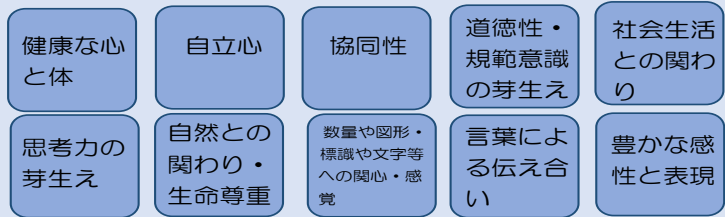
### 自己を発揮し、主体的に新しい学校生活を創り出す

スタート期



アプローチ期

### 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



### 生涯にわたる人格形成にとって極めて重要な時期

- ・十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること
- ・非認知能力の基礎が乳幼児期に育つ
- ・この時期の保育には、愛着行動、基本的信頼感、自己肯定感の育ちを意識した展開が不可欠

### 遊びや生活の中で出会う興味や関心に沿ったICT機器の活用

主体的な活動の中で「見る」「調べる」「共有する」といった活動の広がり

- 教員と一緒にICT機器を活用して、自分たちの思いの実現のために、試行錯誤したり、想像を膨らませたりしながら、役割や手順、時には上手くいかない経験もしながら解決策を模索するなど、生活の中で**思考力の芽生え**が育まれる。
- 個人の体験で留まらず、集団とのやり取りの中で、情報収集、対話、探求心を生み出し、体験と体験をつなぐことで、**学びに向かう力**につながる。

### 小学校での活動

#### 各教科等の学習内容の系統的な学び タブレット端末を活用した個別最適化・協働的な学び



「春を見つけよう！」  
生活科の時間に校庭に出て、春を感じながら自分で見つけた春（花や虫等）を、1人1台タブレット端末で写真に撮って、友達に紹介する活動

### 幼稚園での活動

#### 遊びや生活を通じた総合的な学び ICT機器を活用した幼児の豊かな体験



「カメはどんどこに住みたいのかな？」  
カメに愛着を持ち、餌やりなどの世話をする中で、カメが冬眠するところを探す姿  
文部科学省「幼児期の架け橋プログラムの実施に向けての手引き」の参考資料より

# 津市架け橋プログラムの推進に向けて

## 津市架け橋プログラムのめざすもの

- ◆ 幼児教育と小学校教育の接続・連携強化
- ◆ 幼児教育・小学校教育それぞれの教育の改善・充実
- 自ら考え、解決策を模索しながら最後までやり通すことのできる力  
自己肯定感、失敗してもやり直す力など **非認知能力の育成**
- 一人一人を尊重し、多様な人々と協働しながら自ら行動を起こす力の育成

## 令和4年度 津市架け橋プログラムの基盤づくり

- 公私立幼稚園・保育所・こども園・小学校の代表者による  
**在り方検討委員会・検討ワーキング会議(各3回)の実施**
- 津市架け橋期カリキュラムの開発 ※ 写真、動画等による子どものエピソードから、子どもの学びを見取る話し合い



- 公私立幼保小合同研修会等の充実
- 津市PTA連合会との連携

## 令和5年度 モデル小学校区による津市架け橋プログラムの実施

- **特化研究プロジェクトによるモデル小学校区での実施・検証** (藤水小、桃園小、一志東小、八ツ山小学校区)
- ◆ 各モデル小学校区ワーキング会議の開催 ※ 架け橋サポーター、幼児教育アドバイザー等による訪問支援等
  - ◆ モデル小学校区合同ワーキング会議の実施
  - ◆ モデル小学校区の取組実践報告会の実施
- すべての公私立幼保小を対象とした研修等の充実
- 津市PTA連合会等との連携による地域、保護者への発信 (研修会、広報誌、**かけはし通信**、**facebook** 等)



## 令和6年度 すべての小学校区による津市架け橋プログラムの実施

- 全小学校区の公私立幼保小によるワーキング会議の実施 ⇒ 小学校区架け橋期カリキュラムの作成
  - ◆ 相互の教育内容や方法に関する理解の共有 ※ 架け橋サポーター(R5年度1人⇒R6年度2人)、幼児教育アドバイザー等による訪問支援等
- 子どもに関わる大人が立場の違いを超えて連携・協働して、子どもに学びや生活の基盤を育む**視点の醸成**
  - ◆ 公私立の幼保小、子育て関連部局、保護者、地域の関係者、大学等との連携 ※ **リーフレット作成・配付、研修会等の実施**

**津市立幼稚園がつなぎ役(ハブ)となり、持続的・発展的に実施する組織体制の構築**

# 津市架け橋プログラム

令和4年度

令和5年度

令和6年度

## 津市架け橋プログラムの基盤づくり

津市架け橋期  
カリキュラム  
在り方検討委員会  
(3回)  
会長:学識経験者  
副会長:幼稚園長・  
小学校長代表  
委員:幼稚園  
小学校  
保育園代表

津市架け橋期  
カリキュラム  
検討ワーキング会議  
(3回)  
【メンバー】  
幼稚園教諭  
保育士  
保育教諭  
小学校教諭  
幼児教育アドバイザー  
指導主事



○特化研究モデル  
小学校区(4小  
小学校区)に説明  
○各公私立幼保  
の園長会・校長会  
での取組説明

津市架け橋プログラム事務局  
教育委員会事務局&健康福祉部

全体

モデル小学校区

ワーキング  
メンバー

事務局

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

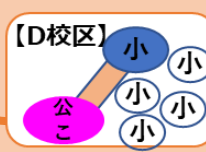
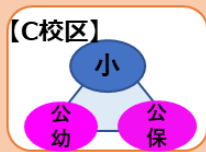
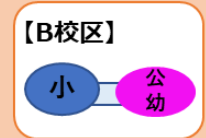
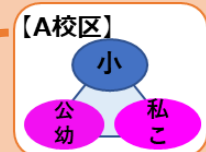
津市教職員  
研修会①  
6月2日  
管理職  
担当者対象  
三重大学 富田教授  
(オンライン)  
(オンデマンド)

津市教職員  
研修会②  
7月21日  
奈須正裕教授  
(オンライン)

公私立幼保小  
合同研修会①  
8月7日  
担当者・希望者  
富田教授  
集合研修



公私立幼保小  
合同研修会②  
1月22日  
吉永安里准教授  
(オンライン)



計画立案  
(校・園内研修を中核に)

モデル小学校区  
合同ワーキング①  
8月21日  
助言:富田教授  
○1学期以降の実践から  
○ABCD4つの小学校区  
の代表者が集まってワ  
ーキングを行う  
○ワーキングメンバーの参加  
(ファシリテーター)  
ワークの様子を公開  
合同ワークの開催  
※楽しく語り合い

モデル小学校区  
合同ワーキング②  
11月17日  
助言:富田教授  
○2学期以降の実践から  
○4つの小学校区のワ  
ーキングの他に他の校区の  
職員が体験参加  
○ワーキングメンバーの参加  
(ファシリテーター)  
ワークの様子を公開  
合同ワークの開催  
※カリキュラム作成



各モデル小学校区で行っている  
ワーキングの様子を公開

カリキュラムは  
ラフなスケッチで



小学校区架け橋期  
カリキュラム完成

### 各小学校区内ワークの柱

●めざす姿・育てたい資質・能力  
配慮すべき事項の検討

- ◆各小学校区の子どもの実態共有
- ◆動画や写真をつかって、エピソードを  
もとに楽しく語り合い
- ◆資質・能力をつなぐカリキュラムの作成

ワーキングメンバーの役割  
●合同ワークへのファシリテーター的参加の要請  
●津市架け橋プログラムの中心的役割  
～令和6年度以降に向けて～

“子どもの姿を話すと楽しい!”  
“楽しく話すのが津市架け橋プロ  
グラムのねらい”  
“カリキュラム作りを目的としない”



まずは「なーんだ。  
楽しい!」と感じて  
もらえるように

R5津市架け橋期  
カリキュラム  
ワーキング会議  
5月30日



モデル小学校区以外の校区でもワーキングが始まり。  
事務局はサポートの要請で大忙し!!

▶モデル小学校区内ワークへのサポート

▶モデル小学校区架け橋期カリキュラム作成へのサポート

▶津市内学校・園等への「津市架け橋プログラム」に係る取組へのサポート

▶「津市架け橋プログラム」に係る研修動画作成・啓発、「かけはし通信」「SNS」を立ち上げ保護者や地域等に発信

全小学校区で実施  
↓  
持続可能な取組に

中学校教育

小学校教育

幼児教育

3歳未満の保育

認知能力

非認知能力

非認知能力の基礎

愛着形成



# 主体的・対話的で深い学びの実現

## 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



### 中学校区のめざす子ども像

D中学校  
校内研修

A小学校  
校内研修

B小学校  
校内研修

C小学校  
校内研修

幼児教育、小・中学校教育の相互理解に基づく接続



育てたい子ども像の実現に向けた各部会の取組（例）

生徒指導

特別支援教育

人権教育

学力向上

### 津市架け橋プログラム

A小学校区  
めざす子ども像  
育てたい資質・能力



B小学校区  
めざす子ども像  
育てたい資質・能力



C小学校区  
めざす子ども像  
育てたい資質・能力

一貫して育みたい  
資質・能力

知識  
技能

思考力  
判断力  
表現力等

学びに向かう力  
人間性等

知識・技能の基礎

思考力・判断力  
・表現力等の基礎

学びに向かう力  
・人間性等

太陽のような温かいまなざし、かけがえのない愛情のシャワー、成長に必要な土壌